

2022年3月11日

在日ロシア連邦大使ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン様

日本バプテスト連盟
公害問題特別委員会

ロシアは、即刻ロシア軍によるウクライナ侵略行為及び、核による威嚇行為・核施設への攻撃を止めてください。

私たちは、ロシア軍によるウクライナへの侵略行為及び、「核兵器」による威嚇発言、さらには原子力発電所及び核関連施設への攻撃について、断じてこれを容認いたしません。このような行為はヒロシマ・ナガサキをはじめとする、全ての被爆者に対する愚弄です。私たちの主イエス・キリストは「剣を取るものは剣によって滅びる」と語りました。武力で平和を創り出すことは決して出来ません。「戦争は最大の環境汚染」です、私たちは「非戦」をつよく訴えます。

去る3月4日、ロシア軍は欧州最大規模のザポロジエ原子力発電所を砲撃しました。英国デーリーメール（電子版）は「ロシアの戦車が金曜日（4日）早朝、欧州で最大の原発の反応炉に火を放った。6つある反応炉のうちの1つが火災になった。ウクライナのクレバ外相は『爆発すれば、チェルノブイリの10倍規模の被害になる』と警告した」と報じています。私たちはこの事態を憂慮すべき、深刻な事態と受け止めます。言うまでもなく原子力発電所には、核分裂中の核燃料及び、使用済み燃料など、大量の核分裂性物質が蓄えられています。この原子力発電所において最悪の破壊行為が行われた場合、その影響は「核兵器」使用にも等しく、そのことがもたらす結果は大変深刻で、地球全体を放射能汚染し、人間のみならずあらゆる命を脅かすこととなる、取り返しのつかない事態が容易に想像されます。私たちの国では2011年3月11日に発生した東日本大震災により、東京電力福島第一原子力発電所の事故を経験しました。未だに事故は収束に至っていません。そのような事故がもう二度とあってはならないと強く思われています。貴国にあっても、チェルノブイリ原発事故は決して過去のことではないはずで、そのような中、原発事故を誘発しかねないような攻撃について即時停止することを強く求めます。

2022年3月11日

内閣総理大臣 岸田文雄様

日本バプテスト連盟
公害問題特別委員会

ロシアは、即刻ロシア軍によるウクライナ侵略行為及び、核による威嚇行為・核施設への攻撃を止めるべきです。日本国政府はそのために最大の平和的努力をなしてください。また、国民の命を脅かす、全ての原発からの速やかなる撤退を決断してください。

私たちは、ロシア軍によるウクライナへの侵略行為及び、「核兵器」による威嚇発言、さらには原子力発電所及び核関連施設への攻撃について、断じてこれを容認いたしません。また、この事態に便乗するかのような、安倍晋三衆議院議員や、高市早苗自民党政調会長、さらには維新の会からの「核共有」発言に対して断乎たる抗議をいたします。彼らの発言は、ヒロシマ・ナガサキをはじめとする、全ての被爆者に対する愚弄です。私たちの主イエス・キリストは「剣を取るものは剣によって滅びる」と語りました。武力で平和を創り出すことは決して出来ません。「戦争は最大の環境汚染」です、私たちは「非戦」をつよく訴えます。

去る3月4日、ロシア軍は欧州最大規模のザポロジエ原子力発電所を砲撃しました。英国デーリーメール（電子版）は「ロシアの戦車が金曜日（4日）早朝、欧州で最大の原発の反応炉に火を放った。6つある反応炉のうちの1つが火災になった。ウクライナのクレバ外相は『爆発すれば、チェルノブイリの10倍規模の被害になる』と警告した」と報じています。私たちはこの事態を憂慮すべき、深刻な事態と受け止めます。言うまでもなく原子力発電所には、核分裂中の核燃料及び、使用済み燃料など、大量の核分裂性物質が蓄えられています。この原子力発電所において最悪の破壊行為が行われた場合、その影響は「核兵器」使用にも等しく、そのことがもたらす結果は大変深刻で、地球全体を放射能汚染し、人間のみならずあらゆる命を脅かすこととなる、取り返しのつかない事態が容易に想像されます。何よりもチェルノブイリ（旧ソビエト社会主義連邦共和国・現ウクライナ共和国）、スリーマイル（米国）、および殊更に私たちの脳裏に刻み込まれている2011年3月11日に起きた福島第一原子力発電所をはじめとする、原子力発電所および核関連施設における事故は、数え切れない、また終わることのない傷みと共に記憶され続けてきました。私たちは日本政府に対して、プーチン政権が、今すぐにウクライナへの侵略行為を止めるべく、あらゆる平和的な手を尽くして、さらに強く働きかけるよう強く要望いたします。

また、今回の事態で、原子力発電所の存在そのものが、私たちの命と暮らしを脅かす、安全保障政策上の重大な問題を抱えていることが露わにされました。私たちは「放射能と命は共存できない」と訴え、「核も軍隊もない世界」を希求し、祈念してきました。私たちは、今すぐ、日本政府が原子力政策を転換し、即刻全ての原子炉を廃炉にする決断をすること、さらには平和利用・軍事利用表裏一体である核技術からの速やかなる撤退を強く求めます。